

北に帰るハクチョウやガン・カモたちはシベリアを目指してさらに北上して行き、代わりに北海道で繁殖するアオサギやムクドリなどの夏鳥たちが南から続々渡ってきています。御大師山やハサンベツ里山地の雑木林の日当たりのよい南側の林縁部にはフクジュソウやナニワズが黄色い花を咲かせ、沢沿いにはエゾエンゴサクやニンソウが咲き始めています。

コロナ禍の中で、一切の活動が制限された昨年度にあって、20年の年月をかけてたくさんの街の皆さんの協働によりつくり上げてきたハサンベツ里山計画地では、栗山キッズの子どもたちや子ども園生、小学生、中高生介護福祉学校の学生さんの自然体験学習がコロナ対策を工夫して実施されました。カミナリ豪雨で崩壊した火薬庫の沢等で7年間の歳月をかけて実施した山崩れや洪水防止の市民工事を実施し一応、完了することが出来ました。

また、本年7月13日に満20周年を迎える記念事業の中核となる納屋の外装改修工事が町民の皆さんからの寄付金と町費と農水省の国の補助金500万円により遂行され、立派に復元することができました。

昨年度の募金の総額は、201万4千円でした。

昨年の秋から冬、コロナで大変な中、たくさんの皆さんからこころあたたまる募金をいただきました。

募金額（寄付金）の総額は、365名の皆さんから協賛いただき、201万4千円にもなりました。一番はじめに募金をもってきていただいたのは、日本ハム監督の栗山英樹さんでした。その後、街の皆さんから次々と届けていただき、町外の芦別市の鈴木紀元さん（前栗山町教育長）からも、空知管内の教職員の皆さんから集めていただいた多額の浄財が届きました。

募金をいただいた多くの皆さんに、本当にこころからお礼申し上げます。

これから、築60年のマンサード屋根の木造2階建ての 仮称「里山のめぐみ交流館 納屋」 の内装・資料作成整備・外構整備のため、教育委員会のお力添えをいただきながら、実行委員会で知恵を出し合い、7月13日で20周年を迎える里山づくり計画の拠点施設にふさわしい交流施設を整備し開館する所存です。

7月18日（日）には、ハサンベツ里山計画実行委員会20周年記念行事と「納屋」オープンセレモニーとシンポジウムを兼ねた催しを、町・町教育委員会と連携して行い、成功させたいと考えています。



ハサンベツ里山の日作業日のご案内

今年も、5月から11月の第2日曜日、5/9、6/13、7/11、8/8、9/12、10/10、11/14に実施しますのでよろしくお願いいたします。9時から12時まで。マスクなどコロナウイルス対策をしてご参加下さい。

北海道e-水プロジェクトから100万円の助成を昨年に引き続きいただくことになりました。

「見て・感じて・調べて・かわる」火薬庫の沢子どもいきもの調査隊へ栗山キッズクラブの活動に、北海道、北海道コカ・コーラボトリング、北海道環境財団の三者よるe-水プロジェクト活動助成が決定しました。